



学び舎に魂合わせ

令和5年11月17日（金）
第7号（2学期）
伊那市立東部中学校
作成 橋倉美奈子

活気と躍動感にあふれた体育祭！



10月13日に体育祭が行われました。障害物リレー、大縄跳び、全員リレーの3種類の競技が行われ、皆が選手となり、クラスの団結力を示しました。



今年度も体育委員会の皆さんが、何日も前から準備や進行のリハーサルを行い、当日は皆が楽しく参加できるよう力を尽くしてくれました。全校生徒も運営に協力し、スムーズに競技を進めることができました。

体育祭後の学級通信には、「どれも全力でできました。」「大縄は何回も挑戦したけどいい記録が出せませんでした。でも、みんなで声を掛け合い、次跳べるようメリハリをつけることができました。」「リレーは△位でのスタートでしたが、全員の頑張りで○位まで上げることができました。諦めずに続けたことがこの結果につながったと思います。」「また失敗したらどうしようと緊張して待っているときに、クラスの人が応援をしてくれて本当にうれしかったです。」などの感想が多数載せられていました。皆で気持ちを一つにして、何かを成し遂げることのすばらしさを改めて感じることでできた時間となりました。そして東部中生のパワーを発揮し、活気と躍動感に満ちた体育祭となりました。

PTA 文化講演会

ペップトーク

～短くてわかりやすい肯定的で前向きな言葉がけのススメ～

10月20日にPTA主催による文化講演会が行われました。元高校教師で、日本ペップトーク普及協会認定講師の徳武有紀先生から、相手を許し、自分を癒し、言葉を見つめるペップトークで、丈夫な心の根っこをつくるためのご講演をいただきました。

PEPとは元気・活気のこと、ペップトークは「短い」「わかりやすい」「肯定的な言葉を使う」「魂を揺さぶる」「人をその気にさせる」激励のショートスピーチのこと、どのような考え方をすればよいかワークショップを取り入れながらお話しいただきました。

生徒の皆さんはセルフペップトークをグループの人に聞いてもらったり、3・3・7ペップを作成したりして、とらえ方を変えることの大切さを実感していました。保護者の方にも、「してほしい言葉への変換」をして、「成功をするイメージの言葉」を子どもたちにかけてほしい、とお話しいただきました。「自分の『言葉』で幸せな未来をつくろう」というメッセージ、受け止めてぜひ実践してほしいと思います。



仙台市立高砂中学校とのつながりは今年も！

さくらプロジェクト記念交流

11月15日、さくらプロジェクト記念交流会が行われました。

今年度は全校生徒が集まり、オンラインで高砂中との交流を行う予定でしたが、インフルエンザ等の感染症の拡大から、各学級での参加となりました。

さくらプロジェクトは今年で11年目。コロナ禍では全校での交流がなくなっていたために、さくらプロジェクトについて知らない生徒も多くなっていました。そこで、生徒集会において、役員による説明がおこなわれ、先輩からつながる大切な交流であることを知ることができました。

当日は、それぞれの学校の取り組みや思いを発表したり、東部中は全校合唱の「ステージ」（録画）を高砂中は「高中魂」を披露したりしました。高砂中では震災の後、防災について追究したり、地域の行事に参加して地域の人と繋がったりして、「いざというときに地域で力を発揮するため」に、自分たちのできることを考えているそうです。私たち東部中生もこれを機に考えていかななくてはならないことを教えてもらった時間となりました。



お知らせ

12月1日（金）～8日（金）に保護者懇談会を行います。保護者の皆さまには大変お忙しい中かと思いますが、学校までお越しいただきますようよろしくお願いいたします。

* 駐車場は校地内または伊那公園駐車場をご利用ください。校地内はスペースが少ないため、つめて駐車いただくようお願いします。周辺道路等には絶対に駐車しないようお願いします。

* 懇談会計画は11月20日（月）までに配付予定です。